

試合の流れ

来週、6月6日（火）から、いよいよ福島支部中体連総合大会が始まります。この大会は、6月20日（火）に行われる県北地区中体連大会の予選でもあります。一つの学校が一つのチームとして出場する競技があります。一方、一つの学校が団体戦に出場し、一人一人の選手が個人戦に出場する競技もあります。

チームとしての試合でも、個人の試合でも、試合には“流れ”のようなものがあります。試合では、流れに乗って、流れを引き寄せて勝つチームや個人があります。それに対して、相手の流れに飲み込まれ、流れを止めることができずに、負けてしまうチームや個人もあります。

あの試合での流れは、どこからどうやって生まれるのでしょうか。答えは、わかりません。わかりませんが、流れを呼び込むチームや個人には、何か共通したものがあるように思います。

一つは、勢いです。相手を上回る勢いです。あいさつができて、よく声が出るような、元気なチームや個人には勢いが出やすいように思います。ただし、勝っているときは声が出るのに、リードされると、声が出なくなり、おとなしくなってしまうようなチームや個人では、流れはこないでしょう。

あとは、普段からどのようなことをやってきているかでしょう。集中して練習をするのは当然ですが、練習以外で何をしているかが大きいように思います。各競技の神様が、それらを見ていて、どちらのチームや個人に微笑むかを決めているように思います。勝負の行方（ゆくえ）は、神のみぞ知るです。

流れがわるくなったら、それを断ち切るために、いろいろなことをします。負けているときには、急いでしまうので、間を置くようにします。できる限り、ゆっくり進めます。時間を置くことで、選手も冷静になることができます。相手の勢いも、一休みとなります。

それでも、流れが変わらないことがあります。大事なことは、最後まであきらめないことです。あと1点のマッチポイントの状況から逆転する試合があります。9回裏2アウトから逆転する試合があります。あと2秒からシュートが入って逆転する試合、一本が決まって勝つ試合があります。

今までの経験から、わかっていることがあります。それは、試合というものは、やってみないとわからないということです。大会では、必ず予想とは違う試合結果が出てきます。中学生の大会で、予想すること自体が間違いなのかもしれません。

運動部の皆さん、ぜひ流れをつかんで勝ち進んでください。期待しています。